

あかいたすき

紅い襷

富岡製糸場物語

2023年3月4日 土 13:30~15:30

ウィメンズパル 多目的ホール (13:00開場)



©2017 富岡市 / 富岡製糸場映画製作委員会

明治の初め、富岡製糸場に伝習工女第1号として入場した尾高ゆう、『富岡日記』の著者・横田英など、日本の近代化の始まりとそれを担った若きパイオニアたちの希望と誇りの物語。

企画・制作▶富岡市 監督▶足立内仁章

出演▶水島優 吉本実憂 桐島ココ 大空真弓 西村まさ彦 ほか

会場
問い合わせ

葛飾区男女平等推進センター（ウィメンズパル）
葛飾区立石5-27-1 TEL：03-5698-2211



パルフェスタ2023 映画上映会

参加無料
先着100名

物語

明治6年春、長野県松代区長の娘・横田英は反対する父を説得し、松代と新しい日本の為、同郷の河原鶴らとともに富岡製糸場に工女として入場した。

明治政府は明治5年、群馬県富岡市に西洋と日本の技術を融合した世界最大規模の製糸工場を設立したが、工女集めに難航していた。フランスから招いた“生糸の神様”と呼ばれるポール・ブリュナ達フランス人に”生き血を抜かれる”という荒唐無稽な噂話が全国に広がっていたからだ。

しかし、製糸場に到着した英が目にしたのは、これまで見たこともない別世界、美しいレンガの建物とピカピカの器械、そして西洋式の労働環境の中で真摯に糸を引く先輩工女たちの姿だった。

全国から集まった工女たちは、一日も早く技術を習得し、紅い襷を掛けることが許されている一等工女になって故郷に戻ることを夢見ている。

その姿に刺激された英と鶴らも、紅い襷を皆で目指すことを誓った。だが現実には、フランス人教師の厳しい指導や時には待遇の差、容易ではない糸取り作業、苦勞の連続だった。

そんなある日、彼女たちのもとへウィーンから驚くべきニュースが届けられた・・・

©2017 富岡市／富岡製糸場映画製作委員会

申込方法

2月7日(火)午前8時から

オンライン申請または、はなしょうぶコールにて電話かファクスで受付。

☎ 電話 03-6758-2222 (午前8時～午後8時)

ファクス 03-6758-2223 (24時間対応)

定員に達し次第締め切ります。1歳以上就学前のお子さんを保育します(先着7名)。

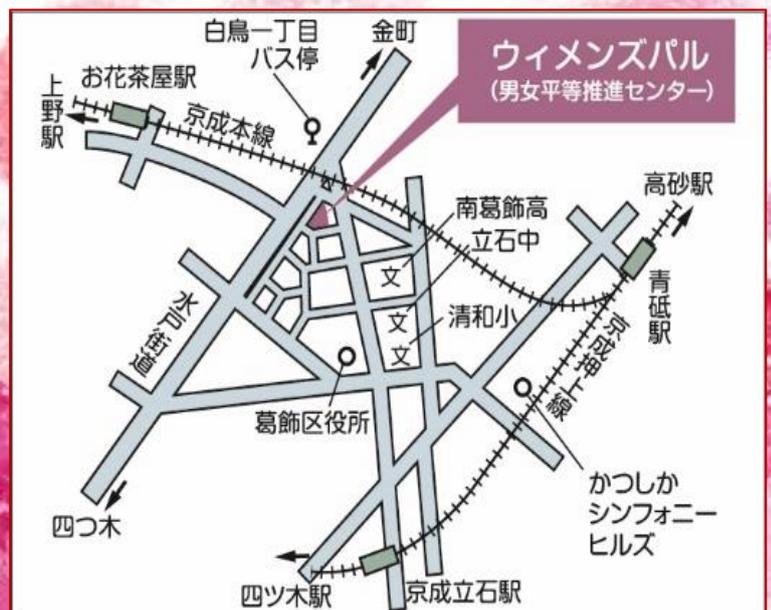
📄 オンライン申請 葛飾区ホームページ <https://logoform.jp/form/Ehiz/194167>

オンライン申請はこちらから⇒
QRコードが読み取れない場合は、
区ホームページからお入りください。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
来場の際はマスクの着用をお願いいたします。
体調不良や発熱がある場合は来場をお控え
ください。

今後の状況によりましては、延期または中止
することがありますのでご了承ください。



会場
問い合わせ

葛飾区男女平等推進センター (ウィメンズパル)
葛飾区立石 5-27-1 TEL: 03-5698-2211